

令和7年度 ちゅーりっぷキッズ自己評価のまとめ

令和8年3月25日

ちゅーりっぷキッズでは、今年度の重点目標としてかかげた以下4つの目標に対して、全員で振り返りを行いました。来年度に向け、今年度の反省点を改善しながら保育の質向上に努めていきます。

重点目標1、 環境を工夫しながら、子どもたちと保育者が楽しさを共有し、「自分で出来た！」を大切に自信につなげていく。

具体的な取り組み

- ・ 保育会議を多く持ち、保育者が援助し過ぎてしまい子どものやる気、やりたいと思う気持ちを奪わないように話し合った。
- ・ 長期的な育ちを見据えた言葉かけや見守る姿勢を意識し、子ども自身の「自分で」という意欲を尊重した。

改善点

- ・ 保育者間での一貫性のある子どもへの対応が難しく、話し合いを重ねる必要があった。

重点目標2、 保護者の気持ちに寄り添い、悩みや不安を話しやすく安心できる保育園であるよう努める。

具体的な取り組み

- ・ 調理員が保護者からの質問に答えたり、園だよりに人気なレシピを紹介したりして積極的に保護者と関わった。
- ・ 保護者と関わることがあまりできない保育者も、日々の連絡帳を通じて具体的なエピソードを情景的に伝えることで、保護者と子どもの成長を共に喜び合える関係性を構築した。

改善点

- ・ インクルーシブ保育のなかで、保護者への対応に難しさを感じる部分が大きかった。様々なアプローチ方法を保育者間で考え引き続きより良い対応を目指す。

重点目標3、 地域の方との栽培や、連携園・系列園に遊びに行く機会を増やし、交流を深め様々な体験をする。

具体的な取り組み

- ・ 前年度の課題であった「連続性」「継続性」を意識し、計画的に交流を深めることができた。
- ・ 連携園、系列園との交流は子どもだけではなく保育者同士のつながりも深まり、子どもへの対応、保育室内の環境などの学びへとつながり本園でも実践することができた。

改善点

- ・ 大きな集団だからこそルールのある遊びなどの経験ができるため、保育者自身が積極的に体を動かし「楽しい」が子どもに伝わり、興味を持ってもらえるような行動を示していく。
- ・ ありのままの子ども姿を受け止め、発達状況に合わせた活動内容を検討する。

重点目標4、 職員全員が防災や危機管理への意識を高められる避難訓練を行う。

具体的な取り組み

- ・ 土砂災害の警戒レベル上昇に伴い実際に系列園に避難したことで、多くの課題が浮き彫りになったが防災意識は高まった。
- ・ 前年度よりも、全職員が防災意識を持つよう備品のチェック表を作成し保管場所の確認を行い、避難訓練への参加もな行うよう心がけた。

改善点

- ・ 全職員が誰かに頼ることなく、主体性を持ち自分で考えて動く力を身に付ける必要がある。
- ・ 職員間の日頃からのコミュニケーションや報告、連絡、相談をより大切にする。

令和8年度 ちゅーりっぷキッズ重点目標

- 1、子どもが心から「楽しい」と思い、笑顔あふれる保育を第一に考える。
- 2、保育参加を通し、保護者との関りを深め子どもの成長を共に喜ぶ。
- 3、公園愛護会の方々、系列園、連携園と積極的に関わり、地域に開かれた園となる。
- 4、栽培や飼育体験を通し、育てる喜びと命の大切さを学ぶ。
- 5、保育者自身が主体性を持ちながら、子どもの命を守る最善の方法を考え保育する。